

萩

ネットワーク

第16号 1997年7月
 発行：萩ネットワーク協会
 〒758 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内
 TEL0838-25-3131 FAX0838-26-5458

「萩夏まつり」恒例の花火大会は年々充実し、ついに山口県内で最大の規模になりました。

今年は、炸裂すると上空500メートルに直径600メートルの花火が一挙に広がる超特大の二尺玉2本を用意してます。

そのほか尺玉38本、1000発の連続速射もなかなかの見物です。

1時間に合わせて6800発の花火が萩の夜空を彩ります。

日時：8月1日（雨天の場合は8月4日）午後8時から

場所：萩菊ヶ浜

萩・日本海大花火大会



7月1日は萩市の誕生日です。 萩市制施行65周年

7月1日は、萩市が市制を施行してから65年目となります。

萩市は、昭和7年7月1日に山口県内で4番目、全国で114番目に市制を施行しました。昭和30年には三見・大井・六島・見島を合併して現在の市域となりました。

この65周年を記念して、萩市では6月21日・22日に萩市出身の東北大学名誉教授・阿座上竹四氏を迎えて萩市・芝浦工業大学合同フオーラムを、7月1日に萩市民館で記念式典を行いました。

また、7月25日にはNHK夏期巡回ラジオ体操大会が明倫小学校で開催されます。文化庁移動芸術祭巡回公演

二期会オペレーが9月14日に萩市民館で開催されます。

数字で見る萩市

市内の地区別面積は次のとおりです。(単位:km²)

萩市の総面積	138.04
川内	5.83
樺東	25.46
樺15	36.38
山田	34.38
三見	24.37
大井	17.88
大島	3.01
相島	2.43
櫃島	0.74
羽島	0.25
尾島	0.34
肥島	0.25
見島	7.74

人口

(平成9年5月末現在)

総人口	4万7887人
男	2万1960人
女	2万5927人
世帯数	1万8386世帯

目次

萩の夏のイベント紹介	2
会津若松市長が萩市訪問	3
ズームアップ・阿座上竹四さん	3
萩女子短期大学の改組・4年制移行について	4
見島高速船就航の船名募集	4
笠山の風穴	4
世田谷区のキャロットタワーに萩の情報が	4
本州の最北端に「みちのく松陰道」	5
萩の新しい名所・木戸孝允旧宅	5
味がいいね。萩の瀬つきアジ	5
三世代の協力で御神輿を補修	6
上田豊治「切り絵展」	6
石見・東京線が午前と午後の2便化に!	6
東京でも市職員の採用試験を実施	6
第22回日隈旗争奪萩近郷柔道大会	7
毛利氏ゆかりの史跡を訪ねて	7
情報アラカルト	8

萩の夏は今年も暑く・熱い!

萩・夏のイベント!
~7月中旬から
8月下旬の行事紹介~

夏が近づいて感じられるようになってきました。目を閉じると、懐かしい顔とともにあの美しい海岸線、まつりのざわめきが聞こえてくるような...そんな萩の夏のイベントに、あなたも帰ってきませんか?

萩夏まつり

「萩・日本海大花火大会」

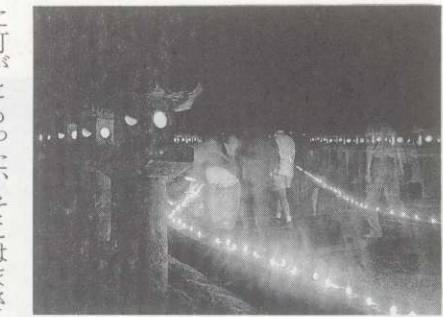
とき 8月1日(金)
20:00~21:00
美しい菊ヶ浜を舞台に、約6800発の花火が萩の夜空を彩ります。これは山陰地方でも最大級の花火大会です。きつと心に残る思い出が。

「サンバ・ヨイシヨコシヨ」

とき 8月2日(土) 18:30
伝統の市民総おどり「ヨイシヨコシヨ」に加え、今年もサンバ・ヨイシヨコシヨが、真夏の夜に繰り広げられます。あなたも一緒におどってみませんか。

「お船謡」

とき 8月3日(日) 11:40~23:30
住吉神社の神幸祭に山車「お船」の上で謡われる、この「お船謡」。県指定無形民俗文化財にも指定されています。元々毛利氏の御座船として、藩主の乗船や新造船推進式、年頭のお船倉での乗り



に灯がともった、そこはまさに幽玄の世界。

「菊ヶ浜のイベント」

初めなどで語られていました。今年も、山車のお船も新調され、一段と華麗なお船神幸になります。

とき 7月12日(土) 11:00
○萩・夏まつりおまつり広場(2日・3日)
お祭り広場では買い物広場が開かれています。また特設ステージではものまねショーやゆかた美人コンテストなども開催されます。

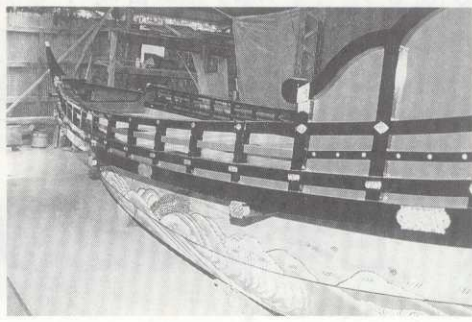
とき 7月20日(日) 9:30
夏の空の下、菊ヶ浜を舞台に鉄人たちの意地がぶつかる。

とき 7月21日(休)
恒例のサンドアート展。菊ヶ浜に、力を合わせて作り上げる素晴らしい砂の芸術が並びます。

とき 7月26日(土)・27日(日)
自然いっぱい見島、ビーチバレーボールやウィンドサーフィン体験などのスポーツで汗を流した後は、見島産マダラや見島牛などのパーベキユードでお腹も満足できるのではないのでしょうか。

「見島『海の祭典』」

とき 8月13日(水) 大照院(迎え火) 8月15日(金) 東光寺(送り火) いずれも19:30~22:00
今や夏の夜の風物詩となった万灯会。木々と石畳に囲まれた500余基の石灯籠全て



「萩・万灯会」

この夏は、見島が面白い。



問い合わせ 見島観光協会 (0838)3311へ

「第4回HAGI世界映画芸術祭」

今年で4回目を迎える「HAGI世界映画芸術祭」。今年も魅力ある映画上映と、映画製作を夢見る若者の集う「CINEMA塾」が、市民館を始め市内各地で開催されます。HAGIの地で世界の映画芸術に触れてみてはいかがでしょうか。

今年もやります! 「映画芸術祭」を支える映画ファン

市教委文化課の山本さん

「HAGI世界映画芸術祭」は今年4回目を迎え、夏のイベントとして着実に根付いたものになりました。



映画祭実行委員会を支える山本さん

この映画祭はボランティアで構成する映画芸術祭実行委員会が主催、運営しています。中心となって会をまとめ

「この映画祭はボランティアで構成する映画芸術祭実行委員会が主催、運営しています。中心となって会をまとめ

「この映画祭はボランティアで構成する映画芸術祭実行委員会が主催、運営しています。中心となって会をまとめ

萩・大茶会を終えて

5月3日・4日 指月公園

毛利元就生誕500周年と萩市制65周年を記念して、「萩・大茶会」が、萩城跡の指月公園で開催されました。

萩藩の祖・毛利輝元(元就の孫)公は、千利休や古田織部の指導を受け、茶道に対して深い理解と愛情を示しました。

また当日は、毛利家17代(萩藩初代藩主秀就公より)当主毛利元敬氏を、毛利ゆかりの地である、萩にお迎えし、毛利元就など12代の藩主をまつつた指月公園内の志都岐山神社において、自在庵保存会



による「献茶」が厳かに行われました。新緑と抹茶の香りがほどよく調和した公園内には、2日間でのべ3万3000人が訪れていました。

「早春譜」が雪解けを促進 会津若松市長が萩を訪問



6月22日、福島県会津若松市の山内日出夫市長が萩市を訪問しました。山内市長の萩訪問は、ミュージカル「早春譜」への観劇招待に応じる形で実現したもので、会津若松市長の来訪は戊辰戦争後129年振り、初めてのことで。

観劇に先立って、野村市長の案内で松下村塾や、大照院にある奥平謙輔の墓など会津ゆかりの史跡を見学をしました。

奥平謙輔は官軍の一員として戊辰戦争に参加し、会津若松城が落城した時、会津の少年3人の教育を託されました。その中の一人が、後の東京帝国大学山川健次郎総長でした。

奥平謙輔は、後に萩の乱に加わって処刑されました。山内市長は、奥平謙輔の墓

奥平謙輔の墓参りをする山内日出夫会津若松市長と野村興児萩市長

前で感慨深そうに野村市長の説明に聞き入っていました。

ミュージカル「早春譜」

「早春譜」は、会津若松市の市民劇団が創作した演劇で、長州人に対して歴史的なこだわりを抱いている会津人の心情がテーマになっています。

去年11月の公演には萩市の野村市長を招待しましたが、野村市長は招待に応じて初めて会津若松を訪問しました。

萩の市民劇団さくら組では、この「早春譜」をミュージカルにアレンジして上演することにになり、新たに白虎隊が自決するシーンなどを付け加え、戊辰戦争をよく知らない萩市民にも会津人の気持ち理解し易いように配慮しました。

山内市長は、スカイシネマで上演されたミュージカル「早春譜」を観劇して、「会津人の考え方を的確に表現し、

すばらしい舞台だった。」と感想を述べていました。

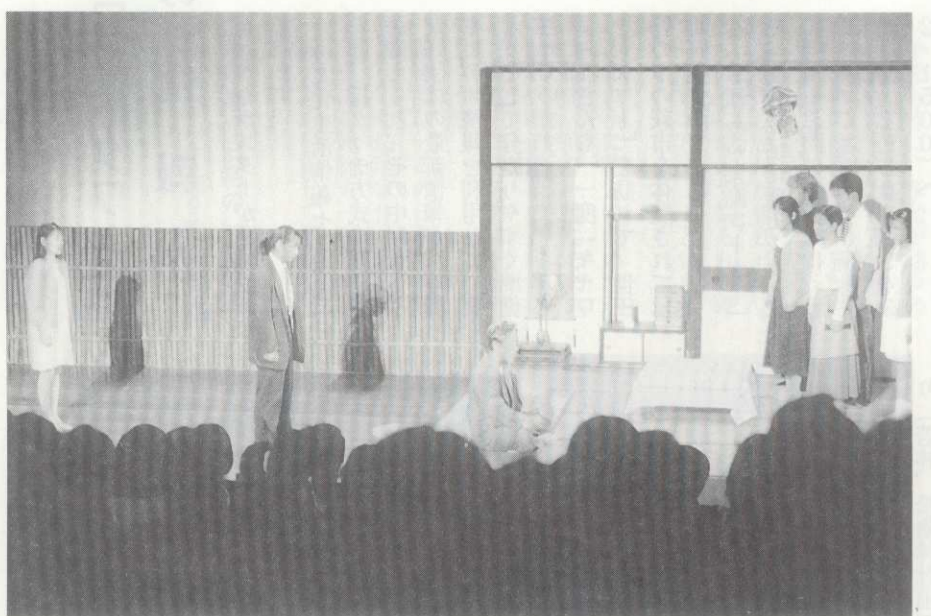
雪解けは時間をかけて

「早春譜」が取り持つ縁で会津若松市、萩市の両市長の相互訪問が実現したわけですが、これで一気に両市の和解実現とはなりません。

というのも会津若松市で行われたアンケート調査では、32%の人が「長州へのこだわりがある」と答えた現実があり、山内市長も萩での記者会見で「今すぐの和解は無理だが、市民の交流を積み重ねるのが良い」と話しています。

両市の旅館組合と商工会議所は友好関係を結び、会津若松市で「萩・山口県観光物産展」を開くなど、すでに交流は始まっています。

「早春譜」が遅々として進まなかった雪解けを一段と促進したのは間違いのないようです。



ブームアップ

「学んだことを社会にお返しすべき時期に」

東北大学名誉教授・阿座上竹四さん（65歳）



阿座上さんは萩高等学校から東北大学に進学、後に東北大学工学部金属工学科教授として研究と教育に従事され、多くの功績を残されました。2年前に東北大学を退官され、現在は埼玉工業大学教授の他に各種団体の役員として相変わらず多忙な毎日を送っております。

6月22日に萩市民館で芝浦工業大学主催のフォーラムが開かれ、工学と文化の融合というテーマで「萩の反射炉」や「山口県美東町産出の銅と奈良の大仏」について話し合われました。

阿座上さんはこのフォーラムにパネリストとして出席し、また前日には萩高等学校視聴覚教室で「銅の文化と技術」と題して特別講演をしました。

こうした活動は、阿座上さんにとって「これまで勉強して得たものを社会にお返しする」活動の一つなのです。

専門分野の仕事としては、スクラップを電気炉で溶解して鉄をリサイクルする際にメッキに使われている亜鉛をどう分離回収するか、低コストで無公害の技術を企業と協力

して研究しています。

また水銀の代替品を開発する研究にも取り組んでいます。

阿座上さんは一昨年肺ガンの手術を受け、リハビリのためボーリングを始めました。週3回通って現在アベレージは170です。

折り紙と音楽は普通の趣味を越えたレベルで、海外旅行で折り紙の連鶴を披露したら大変喜ばれました。

東北大学で今も愛唱されている「東北大学学生歌」を作曲したのは、当時学生だった阿座上さんですが、「賞金5000円が欲しくて応募したのです。寮費が月16000円でしたから、あれで3ヶ月食えました」と話しています。

中学、高校時代の萩は

阿座上さんは昭和22年に満州から萩に引き揚げて来て、萩中学校に編入しました。当時、日本国内には海外からの引揚者があふれ、みんな難民のような苦しい生活を強いられていました。

阿座上さん方では菊ヶ浜に畑が少しあったので野菜を作り、また海でカレイを捕って食料の足しにする、花を作って田町の花屋に売りに行く、菊ヶ浜の松林で松葉を集めて燃料にする、といった暮らし振りでした。

引揚者の子弟の学校生活は今の高校生には想像もつかないものでした。

萩中の先生は、阿座上さんの苦学の状態を見て、裕福な

同級生の家庭教師とか理科室の助手など、アルバイトの口を世話したほどです。

それでも1年休学して働かなければならなかったのが、結局、萩中学、高校に5年在籍して、卒業したのは昭和27年（萩高四期）でした。

「おかげで同級生が沢山います。林秀宣元市長や斉藤兼太郎前議長も同級生です」と今では笑って話しています。

そんな暮らしの中でも「パストラルグループ」という合唱グループに参加し、発表会に出たこともあるそうですから、東北大学学生歌作曲した音楽の素養は、このころ培われたのかもしれない。

これからの萩は・・・

阿座上さんは仙台に住み、

2、3年毎に同窓会出席のため萩に帰っているのですが、萩の移り変わりを断続的に眺めて来ました。

そして「一つの町でこれだけ見るべきものが多いのはやはり珍しいのだから、これをどう生かすかが問題ではないでしょうか」と話しています。

あまり近い未来にこだわらず、例えばヨーロッパには中世の町並みがそのまま残っている所があるように、昔のままの萩を保存できないものか、とも話しています。

正しい説明板や歩道の整備も必要だし、お土産にしても萩焼だけで良いのか、よその真似ではなく、もっとオリジナリティーがあっても良いのでは、と感想を語っていました。

4年制「萩国際大学」

実現に向け一歩前進

萩市に4年制大学の設置について、萩市議会は「誘致実現の要望」を決議し、総額40億円の助成案を可決しました。「4年制大学」は確実な一歩を踏み出しました。

市と学校法人萩学園による予定地域の地元説明会が開催されました。

この地元説明会は、学校法人萩学園による（仮称）萩国際大学の建設計画地である小畑地区の皆さんに、構想内容を説明し、意見を交換するために、4月30日と5月2日の両日、小畑地区内の2か所で開催されました。

この説明会では「建設工事に伴う交通問題」「工事期間中や大学設置後の排水対策」「大学への取り付け道路について」等の活発な意見交換が行われましたが、これらの意見は、今後大学設置の過程で十分に尊重されます。

市議会が臨時市議会を開催し、「私立4年制大学の誘致実現に関する要望決議」を採択しました。

市議会には、私立4年制大学問題調査特別委員会が設置され、この4年制移行問題について様々な角度から慎重に調査検討が進められてきました。

そうした中、去る5月20日、臨時市議会が開催され、議員提案により、「高齢化が進み、若者の都市流出が続く萩市において、大学の誘致は次代の萩市を担う有為な人材と生涯

園に対して、萩市の負担に県からの補助を加えた総額40億円（平成10年度16億円、平成11年度に12億円、平成12年度に12億円）を限度として助成する議案を提出しました。

それを受け、市議会では慎重な審議が進められ、6月25日に賛成多数で原案どおり可決されました。これにより、萩市の将来にとって明るい展望が期待できる「萩女子短期大学の改組・4年制移行」が大きく、そして確実な一歩を踏み出しました。

今後の予定では、本年9月に学校法人萩学園が文部省へ大学設置認可申請書を提出、今秋に開発工事に着手し、順調にいけば平成11年4月には開学の見込みです。

大学問題に関する皆さんのご意見をお待ちしています。お問い合わせ 萩市の大学問題対策室（0838⑤3131内線258）、FAX（0838⑤5722）へ

山口県知事及び山口県議会議長に対して、財政支援を要望しました。

萩市長を始めとして、萩、長門、阿武郡、大津郡の市町村長、議会議長、誘致実現市民会議の代表らが、去る5月23日に山口県庁を訪問し、知事や県議会議長に対して、4年制移行に関する財政支援を要望し、二井県知事より、県議会の理解のもと、文部省の大学設置認可を前提に、財政支援を行う旨の回答をいただきました。

6月定例市議会に学校法人萩学園に対する助成についての議案を提出しました。

6月11日、定例市議会が招集され、市長は学校法人萩学

見島航路に高速船が就航 船名を募集中

萩海運が運航する見島航路に、高速の貨客船が導入されることになり、来春の就航に向けて準備を進めています。

この船は建造費8億5000万円、萩市は離島振興の観点から9千200万円の建造費補助を予定しています。

この高速船の就航により、萩と見島間の運航時間が現在より40分短縮され、1時間10分となり、便数も1日2便が、季節によっては3、4便に増便されます。

見島の人たちの永年の願いが実現し、観光客の増加や産業の振興など、見島地域の活性化に大きく寄与するものと期待されています。

この高速船の船名を募集します。

新船の概要

- ・総トン数 約2600トン
- ・長さ・幅 長さ45メートル 幅8メートル
- ・速力 23ノット
- ・旅客定員 200人
- ・貨物積載量 20トン

見島の新時代の扉を開く新造船の名付け親になってください。船名を募集中です。

応募要領

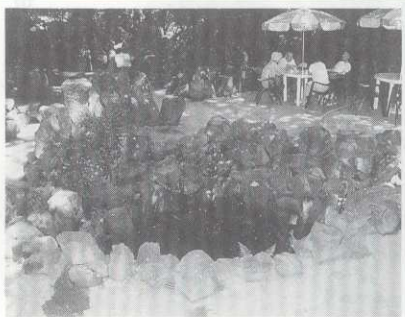
官製ハガキに次の事項を記入のうえ、ご応募ください。
船名、船名趣旨、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号

応募締め切り 7月10日（木）必着
発表 7月20日（日）の「海の日」

応募先 〒758 山口県萩市東浜崎町 萩海運有限公司 船名募集係
※船名採用者には萩市特産品を贈呈。

高速貨客船に関する問い合わせは、萩海運有限公司（0838⑤2040）または萩

笠山の「風穴」を訪れてみませんか？



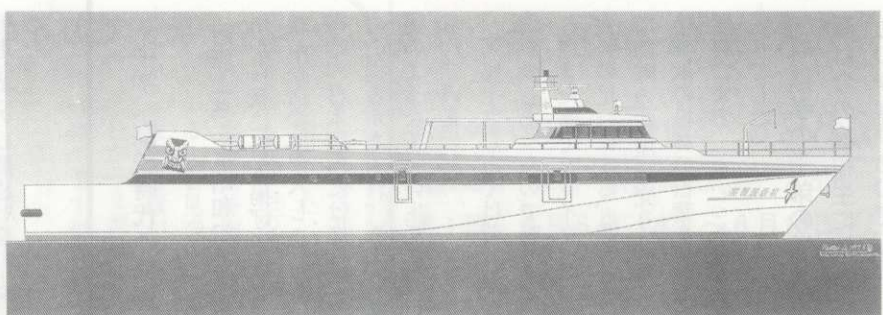
昨年の夏に再開され、「天然クーラー」を体験できるようになりました。

この「風穴」は、国の天然記念物・明神池側にあり広さ約300平方メートルで、一年を通じて一定の温度を保っており、岩のすき間からは冷気が噴き出し夏でも涼しく、観光客に「天然クーラー」として喜ばれています。

周辺には風穴をはじめ、サザエのつば焼きやイカ、ワカ

平成3年から閉鎖されていた越ヶ浜笠山の「風穴」は、

市商工課（0838⑤3131内線319）へ。



ゆっくりと快適なバスの旅を

防長交通の高速バスが、ふるさと萩と東京・大阪間に走っています。座席もゆったりとして、快適な陸の旅が楽しめます。一目覚えれば目的地一

●東京・萩間（萩エクスプレス）

東京（品川バスターミナル）～萩市（バスセンター）

18：30発 → 8：20着

8：15着 ← 18：45発

料金 14,250円（往復運賃25,650円）※子供運賃は半額。

予約先 京急バス東京座席センター03・3743・0022

●大阪・萩間（カルスト号）

大阪（あべの橋）～萩市（バスセンター）

22：40発 → 8：35着

大阪（上本町）～萩市（バスセンター）

6：24着 ← 20：35発

料金 9,480円（往復運賃17,030円）※子供運賃は半額。

予約先 近鉄高速バスセンター06・772・1631

総合問い合わせ 防長高速バスセンター 0834・32・7733

東京世田谷 キャロットタワーに 萩の情報が

吉田松陰先生を通して交流を続けている萩市と世田谷区の絆を一層強くする施設が、世田谷区三軒茶屋に完成しました。その名は「キャロットタワー」。26階建てのこのタワーは、世田谷区民の地域生活拠点として建設されたもので、外観が人参の色をしていますが、キャロットと命名されています。

このタワーの2階に「ふれあい交流コーナー」があり、3階に「文化生活情報センター」があります。「ふれあい交流コーナー」には、「文化生活情報センター」に関するお問い合わせは、世田谷区コミュニティ振興交流財団（TEL03・5432・1500）へ

また、夏から秋にかけて、次のとおり萩市の「技と香り」が世田谷区内に届きます。どちらも萩のとれたての物産や最新の観光情報をお届けします。ご期待下さい。

8月1日～8月3日 世田谷ふるさと区民まつり（馬事公苑）、10月25日～10月26日 萩・世田谷幕末維新まつり（若林、松陰神社前）



本州最北端の青森に 「みちのく松陰道」が完成



みちのく松陰道地図

吉田松陰先生は、外国船が日本周辺に出没し始めた1851年（嘉永4年）12月、江戸から「東北遊学」に出発されました。翌1852年（嘉永5年）3月に津軽半島に達し、津軽海峡や遠く松前の山波を遠望しながら、北辺の地の守りの大切さを実感されたといわれています。

松陰先生はこの東北旅行で、各地に確実な足跡を残されていますが、そのひとつに津軽半島の三厩村と小泊村を

横断する松陰先生が歩かれた道を、遊歩道として整備・保存しようとする「青森県歴史の道整備促進協議会」の活動があります。当初は、青森市、五所川原市などの市町村と、民間団体で構成され、松陰先生がたどった道の整備・復元を目指す活動でしたが、現在では、青森県内の歴史的意義を持った他の街道も整備・保存することに活動内容が発展しています。

この松陰先生を顕彰する動きは、昭和38年5月、漆畑直松氏ら3名の方々が竜飛崎に松陰先生の詩碑の設置を目指し「青森県吉田松陰先生詩碑建立同志会」となります。昭和41年10月、竜飛崎に詩碑が完成し、その会が目的を達したことで同志会は解散しましたが、43年の春に現在の協議会の前身ともいえる「松陰先生足跡踏破の会」が同じく漆畑直松氏を代表として当時33名の会員で発足し、その後、松陰先生の「東北遊学」の足跡を残す小泊、三厩間の踏破を、同会の行事として、青少年を主体として行ってきました。

一方、この道の整備の陳情を青森県に対して繰り返した結果、昭和54年になって県がこの陳情を取り上げ、その後、遊歩道の整備は本格的に行われ「吉田松陰ゆかりの道」として復元されました。

さらに昭和55年春には、前記の「青森県歴史の道整備促進協議会」へと、この会は改組、発展しています。その後、この遊歩道の整備は三厩村と小泊村、そして青森等の協力を得ながら本格的に進められ、一部の改良区間を残しながらも、昭和54年秋に「吉田松陰ゆかりの道」として復元され、平成8年4

この遊歩道は上記の地図のとおり、延長が約12キロメートルあり、昨年の7月には、小泊村で、今年の6月には三厩村で、ともに白御影石の台座に黒御影石の道標が完成し、青森県知事が出席して碑の除幕式が行われています。この道標は約3メートルあり、正面に青森県知事による「みちのく松陰道」、後面には「志を立てて以て万事の源と為す」とする松陰の教えが刻まれています。



みちのく松陰道道標



松陰先生の詩碑

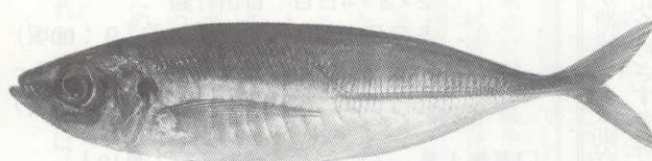
味がいいね。
萩の瀬つきあじ!

山口県では、県沿岸の新鮮で品質のよい魚の特産品化に取り組み、今回、萩沖の「瀬（岩場）」に住み着いている「まあじ」を「瀬つきあじ」とネーミングし、市場開拓に乗り出しました。あじは本来回遊魚ですが、このあじは萩沖の対馬暖流などが複雑にからみあっている場所に住み着いているため、4月下旬から7月下旬にとれるあじは、丸々と太り、脂も乗っているのが大きな特徴となっています。

「味」と「新鮮さ」では、決してひけをとらない萩の沖で取れたまあじを、既に全国展開に成功した大分県の「関あじ」のように、ブランド化することで、漁業関係者は、漁業振興に結びつけようと様々な活動をあわせて行っています。

そのひとつが6月3日の「あじの日」の設定があります。これは、あじから「味」、そして「味」を「口」と「未」に分解して、「口」の部分カタカナの「ロ」として、数字の「6」へ、「未」の部分音読みの「ミ」から数字の「3」として、6月3日を「あじの日」としたのです。また、青物の魚はその栄養特性から、子供の成長や成人病の予防に効果があると言われていています。全国的にアジを多量に扱っている静岡県沼津市などでは、この「萩の瀬つきあじ」に対する高い評価も既に得ています。

旬の時期には、いつでも、全国どこでもこの「萩の瀬つきあじ」が買えるように、みなさんのご協力をお願いします。



萩ネットワーク会員募集

萩ネットワーク協会では、会員を募集しています。ふるさと萩を通して、人と人との交流と情報のネットワークづくりを目指しています。皆様のお友だちで、まだ萩ネットワークをご存知ない方がありましたら、是非お勧めください。

購読料 年間2000円（郵送料を含む）
申し込み・問い合わせ 萩ネットワーク協会（0838・25・3131）

歴史のまち・萩に新しい魅力がまた一つ...
国指定史跡・木戸孝允旧宅一般公開!

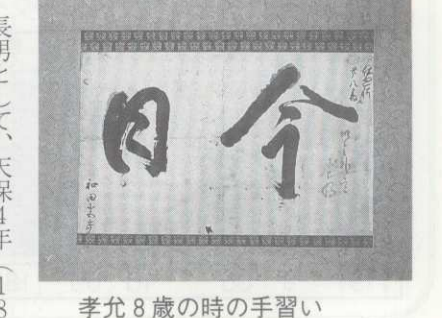
歴史と史跡のまちにふさわしい、魅力ある建物がまた一つ萩の地に誕生しました。萩出身で、西郷隆盛・大久保利通と共に維新三傑の1人と称される、木戸孝允。萩には彼が20歳で江戸に出るまで育った実家が、国指定史跡として呉服町に残っています。平成8年1月から取りかかっていた修理がこの度ようやく終わり、いよいよ待望の一般公開が始まりました。



今回の修理は、建築後150年以上を経過して老朽化が進んだために、屋根瓦の葺き替えや腐った柱の取り替えなどといった部分の半解体修理を行いました。公開に先立ち、木戸孝允の誕生日にも当たる6月26日には第14代当主の孫である木戸寛孝さんも出席して、盛大に竣工式が行われました。

このように魅力の多い木戸孝允旧宅。ぜひ一度この旧宅を訪れ、明治維新の立役者の功績に触れてみるのはいかがでしょうか。萩市では、このほかにも熊谷家住宅や口羽家住宅といった歴史ある建物も一日も早い一般公開を目指して整備を行っています。

●木戸孝允とは...
藩の医者である和田昌景の長男として、天保4年（1833）に生まれる。8歳の時、桂家の養子となり、桂小五郎と名乗る。この家には20歳で江戸に出るまでを過ごす。攘夷運動に参加し薩長同盟を成立、維新の中心人物の1人となる。維新後は政府の中核で活躍。明治政府の中では、最も開明的な政治家であったといわれる。明治10年（1877）、西南戦争の中、京都で没す。



孝允8歳の時の手習い

親・子・孫

三世代で御神輿を補修 祭りを陰で支える金子さん一家



日本の伝統的な祭りに欠かせない御神輿（おみこし）を、製作したり補修する人がいなくなり、伝統行事がピンチを迎えようとしています。

萩市米屋町の金子さん一家は、今では数少なくなった職人芸を親子孫の三世代で守り、各地の御神輿を補修している貴重な職人一家です。

第一世代の金子弥兵さん（95歳）は15歳の時から始めて、この道80年の経験者。

今も現役で、毎日仕事に精を出しています。

第二世代の松造さん（70歳）は「わたしがこの道に入ったのは戦後のことで、爺ちゃんにはかないません」と言いますが、それでも経験50年の大ベテランです。

第三世代の哲広さん（41歳）も17年の経験者で、もちろん立派な職人です。

毎年夏祭りで披露される御船謡（おふなうた）のお船が老朽化したので、今年新しいものに作り直されました。

このお船の金具の取り付けは、哲広さんが一手に引き受け、立派に仕上げました。

今三人が取り組んでいるのは大井八幡宮の御神輿で、秋の式年祭までにきれいに化粧直しをします。

まず金具を外して漆を塗り直します。

漆は薄く塗っては、乾くのを待ち、さらに塗り重ねるので大変手間のかかる仕事です。

金具は、傷みがひどい場合は型を取って京都に注文し、付け替えます。

結局、御神輿を一つ補修するのに2ヶ月かかるということです。

このように三世代が仲良く協力して仕事をしている一家ですが、仕事は「見て覚えるものだ」と言われ、親子でも手を取って教えることはなつかさそうです。

各地のお祭りでは、御神輿を担ぐ人が少なくなり、また高齢化が進んでいるので、軽いものが好まれるようになりまし。

最近プラスチック製の軽くて安い既製品が登場したこともあって、一つ作れば4〜500万円もする本格的な御神輿の注文はなかなか来なくなりました。

金子さんも3年前に作って以来、新作の注文はなく、補修ばかりだということです。

金子さん一家は、御神輿を専門に手がけている訳ではなく、普段は仏具や建具の製作、修理をしています。

しかし山口県内でも数少ない御神輿の製作、修理ができる所として貴重な存在となりました。

昭和27年、東京で知的障害児を持つ3人の母親が手をつないで立ち上がったのがきっかけで、「手をつなぐ親の会」が誕生しました。

萩市では昭和29年9月に「軽いものは自立、重いものには保護、親なき後の保護、発症予防と早期対策」をスローガンに結成されました。

現在市内の会員は約5000人。住みよい町、福祉の町萩をめざし、障害者も健常者も共に萩で生活する者として、地域ぐるみのボランティア精神で活動しています。

「手をつなぐ親の会」は全国にあり、障害児をもつ親が会員となつていますが、萩では唯一、障害児の親も健常児の親も一緒になり、まさに市民を巻き込んだ活動を展開しています。主な行事のひとつに、「萩市民芸能の夕」があります。昭和37年に始まり、今年で35回目を迎える歴史ある行事で、ここで得た収益が会の主な活動費となります。このほか、親子参加の同窓会「新春の集い」や地域でのボランティア活動に参加する「菊ヶ浜の清掃」、「作品展」や重度障害児（者）の在宅訪問などを行っています。

今後は、障害を持つ人たちの「完全なる社会参加と平等」に向け、早期療育、特殊学級への支援の強化を図り、「福祉作業所」「居住施設」建設の実現等の計画推進に総力を結集したいとのことです。

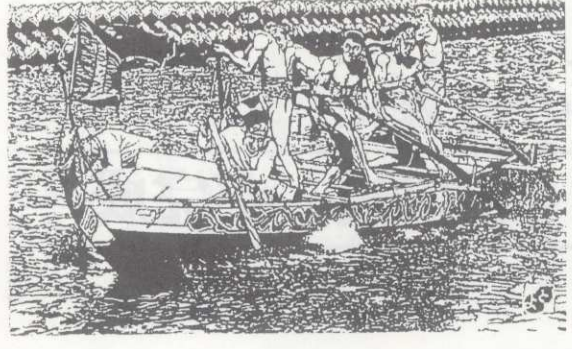
昭和27年、東京で知的障害児を持つ3人の母親が手をつないで立ち上がったのがきっかけで、「手をつなぐ親の会」が誕生しました。

萩市では昭和29年9月に「軽いものは自立、重いものには保護、親なき後の保護、発症予防と早期対策」をスローガンに結成されました。

現在市内の会員は約5000人。住みよい町、福祉の町萩をめざし、障害者も健常者も共に萩で生活する者として、地域ぐるみのボランティア精神で活動しています。

「手をつなぐ親の会」は全国にあり、障害児をもつ親が会員となつていますが、萩では唯一、障害児の親も健常児の親も一緒になり、まさに市民を巻き込んだ活動を展開しています。主な行事のひとつに、「萩市民芸能の夕」があります。昭和37年に始まり、今年で35回目を迎える歴史ある行事で、ここで得た収益が会の主な活動費となります。このほか、親子参加の同窓会「新春の集い」や地域でのボランティア活動に参加する「菊ヶ浜の清掃」、「作品展」や重度障害児（者）の在宅訪問などを行っています。

「手をつなぐ親の会」は全国にあり、障害児をもつ親が会員となつていますが、萩では唯一、障害児の親も健常児の親も一緒になり、まさに市民を巻き込んだ活動を展開しています。主な行事のひとつに、「萩市民芸能の夕」があります。昭和37年に始まり、今年で35回目を迎える歴史ある行事で、ここで得た収益が会の主な活動費となります。このほか、親子参加の同窓会「新春の集い」や地域でのボランティア活動に参加する「菊ヶ浜の清掃」、「作品展」や重度障害児（者）の在宅訪問などを行っています。



日本の伝統的な祭りに欠かせない御神輿（おみこし）を、製作したり補修する人がいなくなり、伝統行事がピンチを迎えようとしています。

萩市米屋町の金子さん一家は、今では数少なくなった職人芸を親子孫の三世代で守り、各地の御神輿を補修している貴重な職人一家です。

僕の夢が実現

上田豊治 「切り絵の世界展」

「僕の夢」東京での個展が決まりました。とつてもうれいですが東京で「切り絵の秋」を見てくださいます。切り絵の仕事をがんばります。

……豊治

萩市在住の切り絵作家・上田豊治さんの東京での個展開催が決まりました。

上田さんは、萩の風景などを題材として切り絵の創作活

動を続けています。

これまでも各地で個展を開催、その精密機械のように切り抜かれた切り絵に、訪れた人の心に強烈な印象を与えています。週刊誌等でも「平成の山下清」と紹介されています。

とき 9月2日（火）

9月8日（月）

ところ 東京銀座三越

東京会場でも採用試験

—募集中—

萩市職員

市立病院事務長

萩ネットワーク5月号でお知らせしたとおり、現在改築中の「萩市立病院事務長」を募集中です。

概要は次のとおりです。

採用人員 1名

応募資格 年齢45歳から55歳程度で、病院の事務長または病院の管理的な職務の経験有する者、もしくは同等の知識・経験を有する者

応募期間 7月15日（火）まで

詳しくは、萩市総務部総務課人事係（0838-3131）までお問い合わせ下さい。

また、この職種以外に、初級職（高校及び短大卒業程度）の職員募集につきましては、8月初旬に決定する予定です。右記人事係までお問い合わせ下さい。

なお、上級職員の採用試験会場につきましては、平成7年度から萩市の他に、受験者の利便を考慮して、東京会場を設定してまいりましたが、本年度も8月3日（日）東京都中央区にある「ワーカーズサポートセンター」で実施します。

これまでの東京会場受験者からは、平成7年度が5名、平成8年度が2名が採用され、それぞれの職場で萩に新しい感覚を持ち込んでいます。

「Fly by IWAMI」萩の空の玄関口 ますます充実

石見空港—東京羽田空港 午前と午後の2便に！

平成5年7月に開港した、萩に最も近い空の玄関口、鳥根県益田市にある「石見空港」の東京路線が7月1日から2便化され、ますます便利になりました。

この路線は、開港当初から6月まで、羽田発午前8時、羽田発午後8時、東京からの利用者には便利な路線でしたが、その反面、石見空港発東京行きは午後4時頃で、萩市方面からは、ビジネスや観光には使いづらい面がありました。

萩市では、益田市や津和野町、長門市、秋芳町などの空港周辺の自治体で構成する「石見空港利用拡大促進協議会」の主要メンバーとして、萩市の観光や地域イメージ、そして地域経済全体に好影響が期待できる東京路線の2便化をめざす各種施策に、野村市長を先頭として積極的に取り組んできました。

その活動の成果として、去る3月、羽田空港の離発着枠の拡大に伴い、全国の空港に対して運輸省から1日40便の増便が認められ、石見空港についても1日1便（1往復）の増便枠が確保されました。

就航会社は従来どおり全日本空輸（株）のグループ企業で、グループ内で離島やローカル路線を担当しているエアニッポンの就航、就航機材も全日空との共通機材であるエアバスA320と決定し、7月1日の就航に向けてタイムテーブルや機材調整が進められてきました。

7月以降の運行スケジュールは下記のとおりですが、石見空港には萩市内からそれぞれの便の離発着にあわせて、連絡バス（停車場は、萩バスセンター、東萩駅、奈古駅前、須佐駅前、江崎、石見空港）が運行されます。

羽田空港と石見空港間の飛行ルートも山口宇部空港と違い、滋賀県上空から日本海を目指します。夏の帰省シーズ

石見空港7月からのタイムスケジュール

東京 → 石見 → 東京					
便名	出発時刻	到着時刻	便名	出発時刻	到着時刻
575	7:40	9:10	576	10:40	12:05
577	14:55	16:25	578	16:55	18:20
大阪 → 石見 → 大阪					
便名	出発時刻	到着時刻	便名	出発時刻	到着時刻
179	9:05	10:05	180	9:45	10:50

会員の皆さんへ

東京⇄石見間往復が何と 39800円

通常運賃 東京—石見間（片道）25650円

第1班 8月6日（水）～8月10日（日）

第2班 8月7日（木）～8月11日（月）

行程 1日目 羽田空港（14:55頃発）・・・
エアニッポン・・・石見空港一貸切バス—萩バスセンター前着
2・3・4日目 自由行動
5日目 萩バスセンター前（9:00頃）
一貸し切りバス—石見空港・・・（エアニッポン）・・・羽田空港（12:05頃着）

□募集人員 各回45人（最少催行人員10人）

□集合場所 羽田空港新旅客ターミナルビル2F 全日空団体専用カウンター前14:00頃

□ご案内 1人様よりお申し込みいただけます。ご希望により萩の宿泊も手配いたします。

お申し込み・問い合わせ
全日空グループ 旅行計画株式会社
（担当 小川・楠本・辻）
TEL 03・3818・8700
FAX 03・3818・9200

第22回日隈旗争奪 萩近郷柔道大会

第22回日隈旗争奪萩近郷柔道大会が、7月21日に萩市武道館で開催されます。
この大会は、萩市出身で大阪府箕面市在住・日隈広吉さん

ん(萩商業昭和14年卒業)がふるさと萩を思われる気持ちから運営経費を負担して開催されているもので、毎年萩市及び近郷の市町村の中・高校生が多く参加しています。山口県内でも古い歴史を持つ大会の一つです。また、この大会からはこれまでに多くの優秀な選手が育っています。

今年も、大会とあわせて萩市・阿武郡・長門市・大津郡のスポーツ少年団員を対象に柔道技術の向上を目指した講習会が開催されることになっています。講習会では、日本でも一流の選手3名を招待して技術指導が行われ、盛り上がった大会になりそうです。
とき 7月21日(休) 午前9時開会、午後から講習会
ところ 萩市武道館
招待選手 金野潤(平成9年度全日本柔道選手権大会優勝・総合警備保障所属) 山本旗六(正力松太郎杯国際柔道大会優勝・JRA勤務) 賀持道明(オーストラリア国際柔道大会優勝)

元就家臣 渡辺通功德碑



渡辺通功德碑

備後国の山内直通のもとに逃れ庇護されていました。のち直通の要請をうけた元就によつて渡辺家は再興され、再び毛利家の家臣となりました。通は槍の使い手で、鈴を賜り槍につけ勇猛を誇示していたので、「鈴槍通」と呼ば

毛利元就ゆかりの史跡を訪ねて

就は、尼子軍の追撃をうけ、命の窮地におちいりました。石見国瀬戸郡の降露坂にさしかかったところで、通は元就の冑を戴き、元就の職をたて、元就の身代わりとなって応戦し、従者7人とともに壮烈な討死を遂げました。危機を脱

した元就は、無事帰着すると通の嫡子長を抱き、「通がいなければ、我が命はなかつた。毛利家が続くか

れていたそうです。天文11年(1542)大内義隆は出雲国の尼子晴久(経久の孫)攻撃の遠征軍をおこし、元就もこれに従軍しました。翌天文12年給退却を余儀なくされました。このとき殿(しんがり)をつとめた元

り、渡辺の家は見捨てない」と誓ったといひます。



渡辺長墓塔

年(1742)に、10代目の子孫渡辺悠(のち就)によつて建てられました。碑の文章は、藩校明倫館の第2代学頭山県周南によるもので、通の功績が滔々と綴られています。また、碑のそばには通の嫡子で、弘治元年(1555)の厳島の合戦や永禄4年(1561)の豊前国門司表の合戦などで活躍した渡辺長の墓(宝篋印塔)もたっています。

募集します

萩ネットワーク協会では、全国各地の情報収集をするため「ふるさと特命記者」を募集します。問い合わせ 萩ネットワーク協会(0838・25・3131内線226)へ

母校の同窓会に 出席しよう!

萩高同窓会
88会

今年の引受期は34期です。現在8月8日の開催に向けて準備を進めています。遠くふるさとを離れている皆さんも、ふるさと萩で思い出話に花を思いっきり咲かせて見ませんか。引受期一同多くの皆さんの参加を心からお待ちしております。
とき 8月8日(金) 午後7時
ところ 萩高体育館

萩光塩学院
同窓会

皆さん、恩師や友人とゆつくりと語り合ってみませんか。今年も萩光塩学院の同窓会が開かれます。毎年、様々なアトラクションに工夫を凝らしていますが、その期待を裏切りません。ふるさとで、我が母校で今年もまた会いましょう。楽しみにしています。
とき 8月10日(日) 午後6時30分
ところ 萩光塩学院体育館

萩の イメージアップへ 全国京都会議に加盟

萩市が全国京都会議に加盟することになりました。

この全国京都会議は、全国各地に所在する京都ゆかりの市町が連携し、広域観光キャンペーンを実施して各市町のイメージアップと観光客の増加を図ることを目的としています。

現在、京都市をはじめ全国の52市町が加盟、中国地区では松江市や津和野町・山口市など9市町が加盟しています。

6月26日に愛知県犬山市で開催された平成9年度総会で、萩市の加盟が承認され53番目の加盟市となりました。

情報アラカルト

書籍

- ◆「司馬遼太郎が語る日本」 週刊朝日
週刊朝日に連載中の「司馬遼太郎が語る日本」。この連載の中で、長州・会津・薩摩の三藩の事情、吉田松陰と河井継之助の人物像などが連載されています。
◎連載第53回(6月20日発行)＝残された未公開講演録・幕末の三藩(1974年9月27日会津若松市民館での講演より)
◎連載第54回(6月27日発行)＝残された講演録・歴史の中の生きがい・上(1970年5月22日第1回朝日ゼミナールより) 定価 290円
◎連載第55回(7月4日発行)＝残された講演録・歴史の中の生きがい・下(1970年5月22日第1回朝日ゼミナールより) 既に発行されていますので、図書館等でご覧ください。
- ◆7月17日号週刊新潮
7月17日発売号のツアー欄(1ページ全面)で、萩市見島が紹介されます。ジーコンボ古墳や金石遺物、島独特の古い習慣・民謡などを島の人たちに尋ねる形式でレ

ジャー欄としてまとめられます。

- 定価 290円
- ◆「毛利元就一その野望と群雄たち」 世界文化社
戦乱の世に生を受け中国の覇者となった元就の姿を、写真を使って分かりやすく解説しています。
定価 1360円(税別)
- ◆「白い崖の国をたずねて～木戸孝允のみたイギリス～」 宮本孝著 集英社
岩倉使節団の副史・木戸孝允のイギリスにおける行動、感慨、わが国にもたらしたもの等を彼の日記により詳しく紹介しています。
定価 1648円
- ◆見島中学校創立50周年記念誌「魅・美・見島」 見島中学校発行
見島中学校は今年50周年を迎えます。これを記念して今年10月に記念誌を発刊する予定です。見島中学校の歩みや教職員・同窓会名簿などを紹介しています。
定価 3000円(予定)
購読申し込み 見島中学校内記念事業推進委員会事務局(0838・23・2007)

テレビ・ラジオ

- ◆「旅・わくわく」 JNN(TBS)系 全国26局ネット
元・宝ジェンヌでテレビ・舞台で活躍中の一路真輝さんが初夏の山口を旅して、萩市と秋芳町の郷土料理に舌鼓を打ち、土地の名湯につかります。そして、地元の人々との心のふれあいと、大自然に驚愕する今回の旅です。
放映予定日 7月5日(土) 午前7時30分～7時58分
- ◆NHK夏期巡回ラジオ体操会 NHKラジオ第1放送
あのNHK朝のラジオ体操が萩から中継放送されます。これは、萩市制施行65周年の記念事業として開催されるものです。当日は、明倫小学校から満点体操でお馴染みの輪島直幸さんの指導により市民3000人が参加してラジオ体操の模様が中継されます。
放送日 7月25日(金) 午前6時30分～6時40分
- ◆「ふるさと街道物語」 YAB(山口朝日放送)
7月19日(土)から4週連続で萩市の萩焼作家の窯元を訪ねる内容で放送されます。今回の放送が第3弾となります。
放映予定日 7月19日(土)・7月26日(土)・8月2日(土)・8月9日(土) 時間はいずれも午後3時50分から3時55分
なお、7月19日・7月26日は高校野球放送のため放映日時が延期となることがありますのでご注意下さい。
- ◆「県民アワー」～21世紀に伝えたい～
後世に伝える文化財を守る取り組みとして、住吉神社の「お船謡」が紹介されます。
放映予定日 8月30日(土) 午前9時30分～9時45分
8月31日(日)(再放送) 午前7時45分～8時00分

※各期で(全会員に呼びかけ)開催する同窓会等も掲載します。

関東地区

◆東京ドーム「おいませ山口 うちわデー」へのご招待

山口県観光と物産品PRのための「おいませ山口 うちわデー」が開催されます。このイベントでは、東京ドームで行われる日本ハムファイターズVS近鉄バファローズ戦に1000名の皆さんをご招待します。また、山口県の特産品や豪華商品がプレゼントされます。

と き 7月11日(金) 午後6時=オープニングセレモニー、午後6時15分=試合開始

ところ 東京都・文京区東京ドーム

特典 ①先着1500名様に山口県の特産品プレゼント ②先着12000名様に特製うちわ配布 ③先着15000名様に豪華商品の当たるラッキーカード配布(商品予定:山口県旅行ペア招待券、特産品)

野球観戦招待券(外野席)の申し込み 7月9日(水)までに千代田区丸の内1-8-3国際観光会館3階山口県東京物産観光事務所(03・3231・1863)へ

◆山口県東京物産観光事務所からのお知らせ

山口県東京物産観光事務所では、県内市町村の観光パンフレットや特産品を取り揃え次の事業を行っています。

- 観光情報の提供、物産品の販売・斡旋
- 各種イメージアップ事業及び百貨店での物産展開催
- Uターン相談窓口

◆森川翠水墨画展

萩高38年度卒業の森川さんの水墨画展が次のとおり開催されます。

と き 7月29日(火)~8月3日(日)

ところ 東京都・銀座鳩居堂4階画廊

◆上田豊治「切り絵の世界展」

と き 9月2日(火)~9月8日(月)

ところ 東京銀座三越

(本号6Pを参照下さい)

◆第20回世田谷ふるさと区民まつり

世田谷区と交流のある全国の市町村が参加して、ふるさと物産展も開催されます。萩市と世田谷区は松陰神社という共通点を通して、交流が続けられています。萩からも海産物・夏みかん製品が店出します。

と き 8月1日(金)~8月3日(日)

ところ 世田谷区・JRA馬事公苑

◆姉妹都市の観光と物産展

鎌倉市が姉妹都市の友好交流を深めようと毎年開催しています。萩市も昭和54年11月に鎌倉市と姉妹都市盟約を締結して交流を続けています。萩からも海産物や特産品、萩焼の店が店出します。

と き 9月13日(土)~9月14日(日)

ところ 鎌倉市中央公民館

◆萩焼作家の個展

◎萩・土と炎の創造「浜中月村の陶」

と き 7月25日(金)~8月3日(日)

ところ 前橋市古市町1-50-21 上毛新聞社本社

◎高見世清次作陶展

と き 9月25日(木)~10月5日(日)

ところ 東京都目黒区・ギャラリー山本

◆平成9年度歴史的な地区環境整備街路事業推進協議会 通常総会

この推進協議会には萩市も含め全国から市町村88団体が加盟しており、野村興児萩市長も出席します。

と き 7月14日(月) 午後1時~

ところ 東京都千代田区・東条会館

北陸地区

◆萩焼作家の個展

◎守田唐七作陶展

と き 7月10日(木)~7月15日(火)

ところ 富山市・大和デパート

東海地区

◆東海指月会・たちばな会中京支部・からたち会中京支部 合同総会

さんの参加をお待ちしています。

と き 7月20日(日) 正午~

ところ 名古屋市中村区・名古屋都ホテル

関西地区

◆第47回日本画1997 新興展

萩出身の女性日本画家・内田青虹の日本画が展覧されます。

と き 7月1日(火)~7月10日(木) *月曜日休館

ところ 京都市岡崎公園内・京都市美術館

◆萩焼作家の個展

◎守田唐七作陶展

と き 8月10日(日)~8月15日(金)

ところ 大阪市梅田・阪神百貨店

◎都野栖雲作陶展

と き 8月1日(金)~8月7日(木)

ところ 大阪府守口市・京阪百貨店

◎守繁徹作陶展

と き 7月2日(水)~7月8日(火)

ところ 神戸市・三越ポートピアギャラリー

中国地区

◆萩焼作家の個展

◎高見世清次作陶展

と き 7月22日(火)~7月27日(日)

ところ 岡山県倉敷市・天満屋デパート

◆からたち会広島支部

からたち会広島支部の総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

と き 7月12日(土) 午後6時30分~

ところ 広島市南区・ホテルセンチュリー21広島

山口県関係

◆たちばな会山口支部

たちばな会山口支部の総会を次のとおり開催します。多くのみなさんの参加をお待ちしています。

と き 7月11日(金) 午後6時30分~

ところ 山口市湯田・翠山荘

◆第20回記念伝統工芸新作品展

萩焼作家・三輪休雪、岡田裕、兼田三左エ門、兼田佳炎、厚東建信、玉村登陽、坂高麗左衛門、止原伸郎、納富晋、野坂康起、波多野善藏、松村拓夫、三輪栄造、山影陶道の作品が展示されます。

◎下関市

と き 7月1日(火)~7月13日(日)

ところ 下関市・下関市立美術館

◎徳山市

と き 8月14日(木)~8月19日(火)

ところ 徳山市・近鉄松下百貨店

◆萩焼作家の個展

◎ベアティル・ヘアソン作陶展

と き 7月25日(金)~7月29日(火)

ところ 山口市・ギャラリー「ラセーヌ」

九州関係

◆九州指月会

九州指月会の総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

と き 7月13日(日) 午前11時30分~

ところ 福岡市中央区・KBCビル9F

◆萩焼作家の個展

◎高見世清次作陶展

と き 7月16日(水)~7月20日(日)

ところ 佐賀県佐賀市・玉屋デパート

◎西日本選抜精鋭作家展

萩焼作家・田中真一、田中克敏、中村真一、吉賀将夫の作品が展示されます。

と き 9月20日(土)~9月23日(火)

ところ 北九州市小倉北区・西日本総合展示場

◎守繁徹作陶展

と き 7月22日(火)~7月28日(月)

ところ 鹿児島市・三越百貨店

萩市関係

◆菊ヶ浜サマービーチフェスタ in 萩

菊ヶ浜海水浴場で各種の行事が繰り広げられます。中でも、砂浜で繰り広げられる砂の芸術には毎年力作がずらりと並び、訪れる人の目を楽しませてくれます。

と き 7月21日(休)

ところ 萩・菊ヶ浜海水浴場

◆第22回日隈旗争奪萩近郷柔道大会

と き 7月21日(休) 午前9時開会

ところ 萩市武道館

(本号7Pを参照ください)

◆萩夏まつり

真夏の萩のビッグイベント。市民総参加による総踊りのほか、あの伝統のお船謡も今年新装となって披露されます。

と き 8月1日(金)~8月3日(日)

ところ 萩市吉田町通り

◆萩市民大学教養講座

大河ドラマの「毛利元就」の原作「山霧」の著者・永井路子氏を講師に迎え開催されます。

と き 8月7日(木) 午後7時~

ところ 萩市民館

◆毛利元就展—その時代と至宝—

毛利元就画像や元就所用の甲冑、刀などのほか文学をもって朝廷に仕えた毛利氏の始祖・大江氏から元就に至るまでを描いたものです。2月の東京での開催を皮切りに広島・名古屋を巡り、展覧会の締めくくりとしてここ萩で開催されます。

と き 8月8日(金)~9月15日(月)

ところ 萩市平安古・山口県立萩美術館・浦上記念館

展示内容 毛利元就所用の甲冑や刀、自筆書状等のほか絢爛な能衣装、雪舟とその弟子が描いた水墨画、中国や朝鮮の工芸品等毛利氏伝来の美術品を中心に、国宝や重要文化財を含むおよそ280点を展示

◆萩高同窓会88会

と き 8月8日(金) 午後7時~

ところ 萩高体育館

◆萩商業高等学校昭和32年卒「32会」

この会は、今年40周年を迎えました。今年は萩市で開催します。ふるさと萩で、学生時代の思い出を語りあってみませんか。

と き 8月9日(土) 午後5時30分~

ところ 萩市・萩グランドホテル

6月に案内状を送付しています。もし届いていない方は、下記まで連絡ください。

問い合わせ 会長・永田稔(0838・22・3319)

◆萩光塩学院同窓会

と き 8月10日(日) 午後6時30分~

ところ 萩光塩学院体育館

◆萩・万灯会

大照院と東光寺の石灯ろうの灯が幻想的な世界を創り上げます。あなたも幽玄の世界に足を運んで見てはいかがでしょうか。

と き 8月13日(水)(迎え火)

ところ 大照院

と き 8月15日(金)(送り火)

ところ 東光寺

◆萩高20期 卒業30周年記念同期会

年男・年女を迎える我ら、少々くたびれかけた心身をふるさとでリフレッシュ!

と き 8月16日(土) 午後4時~

ところ 萩市後小畑・萩たなかホテル

4月下旬に案内のハガキを出しています。届いていない方は、下記まで連絡ください。

連絡先 0838・26・1414 (新谷事務所・秦将宣)

◆第4回HAGI世界映画芸術祭

今年で第4回目を迎えたHAGI世界映画芸術祭。映画を通して、萩から熱きメッセージを今年も発信。

と き 8月20日(水)~8月26日(火)

ところ 萩市民館・萩スカイシネマ